

充実します2021年度予算

河川・砂防堤防土砂撤去費増

横断歩道塗り替え 3倍

3700本

道路面標示 (停止線等)

塗り替え 11倍

13,670個

視覚障がい者対応

スマホ連携信号設置

区画線 800 km引き直し

川島駐在所他建替え

小3の35人学級実現

工業・農業高校の実習機器整備

ひきこもり支援実態調査 と 支援充実

不妊治療支援所得制限撤廃

3・23
予算
反対討論
要旨
その②

マイナンバー もリニア も いらない 少人数学級 さらに進めよ

【デジタル改革】

国に先駆け、知事直属のデジタル社会推進局を作り最高デジタル責任者を公募で採用。デジタル技術の活用は必至・必携のもですが、国で新設されるデジタル庁が進めるのは、

①全国の自治体を標準化し、統一型に

をほぼすべての人に普及する。

②マイナンバーとしており、地方自治の後退、中央集権体制が進み、旧憲法下の戦争動員へ進んでいった歴史を蘇らせてはなりません。

また、マイナンバーカードが普及しない最大の理由は、個人情報漏えいへの危機感と、委託業者の不透明な運営や自分たちに都合の悪いことは隠しとおし国民情報は一手に集めて利用しようとする今の国の政治に対する不信感に他なりません。

デジタル化によって事務処理能力を向上させ、データ分析などの時短化で生み出された人間力を、県民サービス等の充実のために活かすことが求められます。



【リニア中央新幹線】

県内駅候補地選定という新たなステージに入ったと力が入っています。900万円は主に宣伝広報費です。

工事によって流出する地下水を全量戻すことができないことや、東京外環道の陥没空洞事故を受けて、東京名古屋間2027年開業の見通しがたたなくなっています。「より早く、より遠く」というような高度経済成長モデルから脱却して「より近く、よりゆとり」へ。「人口減少、新型コロナウイルス危機でテレワークやリモート会議などが広がり、三大都市集中の構想自体が「ゆとり、分散、小規模」などを大事にするコロナ後の社会にとってリニアが必要なのかも問われています。建設には巨額の税金が投入されます。今は、リニアよりコロナ対策です。

【少人数学級】

小学2年生へ、35人学級が拡大されます。感染症3密対策もあり、1学年ずつ4年かけて小学校すべてで35人になる方針です。文科省が法改正を行うことの1年前倒しをして県が取り組むことは、長年要求してきた日本共産党としてうれしいことです。

しかし、懸案の、小1・2年の25人下限条件はそのままです。三重県が30人学級に先んじて取り組んできたことを是とし、25人条件を外し、さらに30人以下学級への拡大を望みます。

県産材を最優先に

森林の有する多面的機能の持続的発揮と、林業及び木材産業の健全な発展により地域経済を活性化させ、県民が快適で豊かな暮らしを営むことができるよう、県を挙げて木材利用の推進を図り、木材、中でも県産材を最も優先して利用する「三重の木づかい条例」を制定する。



三重県産材利用促進に関する条例検討会

県議会最大回数ともいえる20回にわたる検討会を重ね、議員でつくる条例として全会一致で採択しました。パブリック・コメントを2回実施したことも異例のことです。検討会委員であった山本県議は「県産材を最優先する」ことにこだわり方向を示しました。

また、委員十一人のうち女性議員が5人という画期的な委員会構成でした。



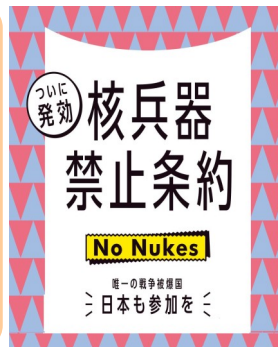
山本いか議員の毎日は
FBでご覧ください

<https://www.facebook.com/rika.yamamoto.3382>



県議団 ホームページ
議会活動はこちら

<http://kengidan.jcp-mie.jp/>



三重県議会は2018年核兵器禁止条約への署名と批准を求める意見書提出済



2021. 3. 20

～「生きる」ことを励ます県政に～

三重県議会日本共産党